

まもなく、東日本大震災から5年です。今回は、動物と暮らす方にとって必要な災害時の「備え」や心構えについてお話ししたいと思います。

「うちの子、とても怖がりなのよね」と感じている方もいるかと思いますが、万一災害が発生したとしても、慌てずにいつも通りに接することを心がけてください。安心させようとしてなだめても、犬や猫は飼い主のいつもと違う声のトーンなどを敏感に察知し、かえって不安になってしまうからです。

大地震が発生し、すぐに避難をしなければならないという状況は、いつ降りかかってくるか分かりません。地域の



災害に備える

避難先では、多くの人と共同生活を送らなければならないため、動物も人と同様に「マナー」を守ることが求められます。

過去の震災では、動物を連れて避難したくても、しつけが不十分なために避難所に入らず、泣く泣く動物を残して避難しなければならないという事例も多くありました。こうしたケースを避けるためには、普段からトイレは決められた場所でさせるといった基本的なしつけや、必要以上にほえさせないなどのトレーニングが大切です。

また、動物用の防災グッズも、あらかじめ用意しておくで安心ですね。最低でも、5日分の水や食料、トイレシートなどを、いつでも持ち出せるようにバッグにまとめておきましょう。お気に入りのおもちゃやおもちゃなどを入れておけば、いつもと違う環境でもリラックスできるかもしれません。

必要なものが入ったリュックなどもありますので、活用してみるのも一つの手ですね。

自分と大切な動物の命を守るため、今から準備をしておきたいものです。

(アニコム損保

獣医師 古沢優)